

トルコ為替週報

2023年4月12日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(4月4日～4月11日)

USD/TRY: 19.2031～19.3026

TRY/JPY: 6.78～6.94 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は、対ドルで続落。対円では、4月10日の植田・日銀新総裁の就任会見後に円安が進み、やや持ち直す格好となった。

トルコ中央銀行は4月7日に新たなリラ安抑制策を打ち出した。4月28日以降、預金総額に占めるリラ預金の比率が60%未満の銀行に対しては、外貨預金に対して求めている準備金の比率を25%から30%に引き上げる。この施策がリラ安抑制策になるのは、中長期的なリラの下落トレンドの要因として、通貨安・高インフレの環境が続く中で、トルコの個人や企業がヘッジや資産防衛などの目的で、外貨や金など、自国通貨以外に資産を分散させてきたことが影響していると見られるためだ。今回のトルコ中銀の施策は、預金に占める外貨預金の高い銀行に対してペナルティーを科すことで、自国民・自国企業による外貨資産の保有拡大を抑制し、通貨安圧力を和らげようとする施策の一環として位置づけられる。もっとも、こうした施策は、2021年12月に導入されたリラ預金保護策(リラの預金者に対し、外貨預金との「為替差損」を政府が補填)のように短期的には劇的なリラ反発をもたらすものもあったが、中長期的に見れば経常赤字からくる実需のリラ売りを相殺するものとはなっていない。

経済指標では、経常収支と鉱工業生産指数が発表された。4月10日に発表された2月分の経常収支は87.8億ドルの赤字となった。統計開始以来最大となった1月分の経常赤字も98.5億ドルから100.2億ドルへと上方修正されている。12か月累計値対GDP比率を計算すると7.8%という大きさであり、実需面から見たリラ安圧力の強さを窺わせる。4月11日に発表された2月分の鉱工業生産指数は前年同月比-8.2%と大幅に下落した。市場予想では同+1.5%とプラス成長が見込まれていたが、大幅な下振れとなった。2月6日に発生したトルコ・シリア大地震の影響が顕在化した形だ。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/10	08:00	経常収支(USD)	2月	-8.45b	-8.78b	-10.02b
4/10	08:00	失業率	2月	—	10.00%	9.80%
4/11	08:00	鉱工業生産	2月	1.50%	-8.20%	4.60%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(4月11日～4月18日)

USD/TRY: 19.20～19.70

TRY/JPY: 6.50～7.00

向こう1週間のトルコ・リラ相場は、対ドル・対円で、じり安の展開を予想する。上述の通り、4月7日にトルコ中央銀行は新たなリラ安抑制策を発表したものの、リラ相場の方向性を変えるほどのインパクトを持たないと見られる。大幅な経常赤字から来る実需面からのリラ安圧力を和らげるには、単純に言えば輸出の拡大か、輸入の抑制かが必要となるが、輸出の拡大が一朝一夕には達成が困難であることを考慮すれば、当面は輸入の抑制しか選択肢が無いだろう。しかし、トルコ中央銀行が金融引き締めを行い、消費・投資活動を抑制し輸入が減少、貿易収支が改善するシナリオは現時点では描きにくい。

リラ相場の先行きは5月14日に控える総選挙と、その後、金融・財政政策の変化が見られるかにかかっている。エルドアン大統領が党首を務める公正発展党(AKP)は4月11日、経済運営の指針を示している。その中には、強力な経済対策チームの編成、マクロ政策運営の枠組みのアップデート、が含まれている。先週には、市場の評価の高かったシムシェキ元副首相(2018年7月に退任)の復帰報道もあった。政策面の変化が見られるかはもちろんリラ相場にとって重要だが、金融・財政政策がエルドアン氏の意向によって大きく左右される状況は変わらないと見られる点には注意が必要となろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

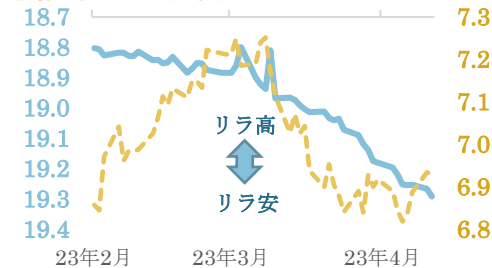
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/17	08:00	住宅販売	3月	—	—	-18.00%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコリラの推移

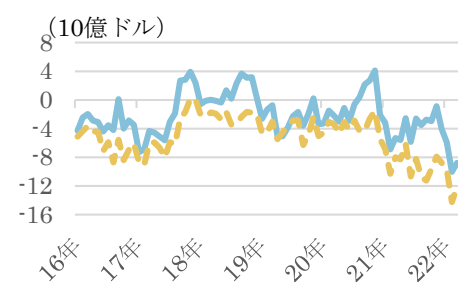
実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



経常収支・貿易収支

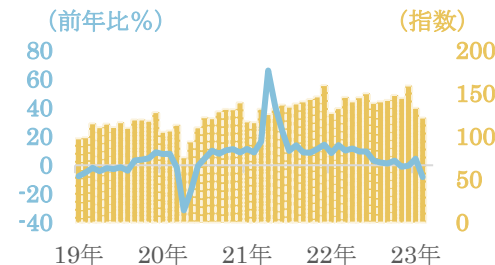
実線: 経常収支、点線: 貿易収支



政策金利・CPI

前年比(左軸)

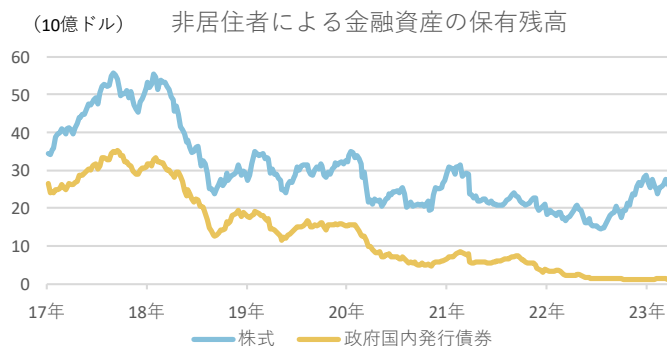
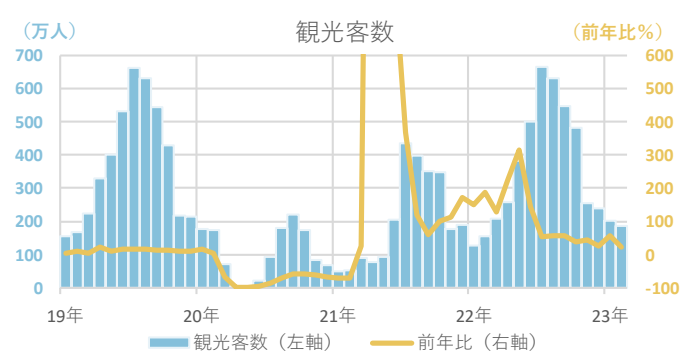
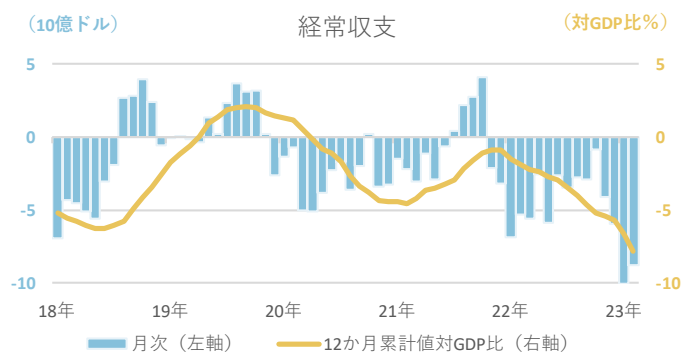
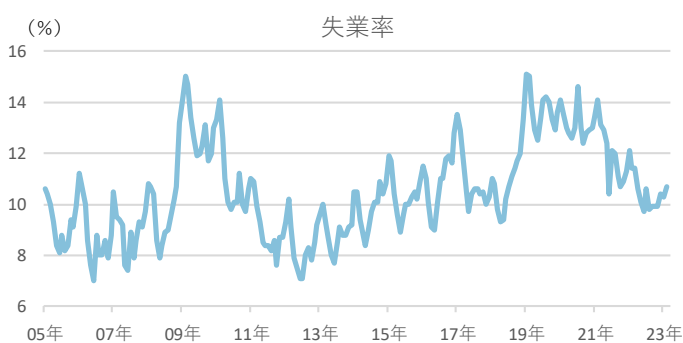
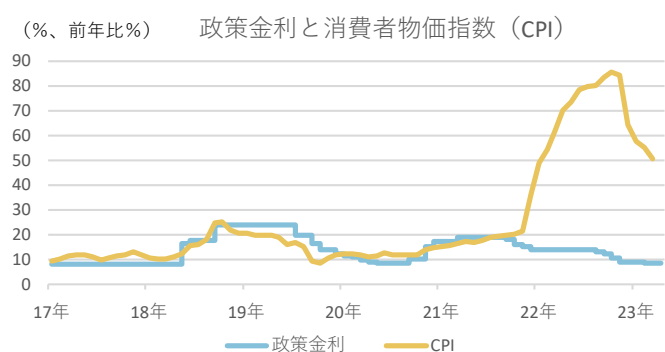
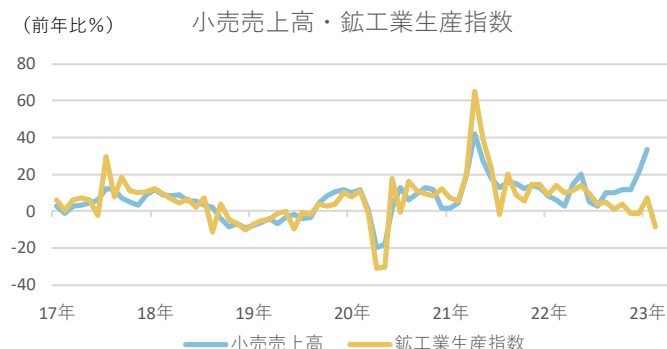
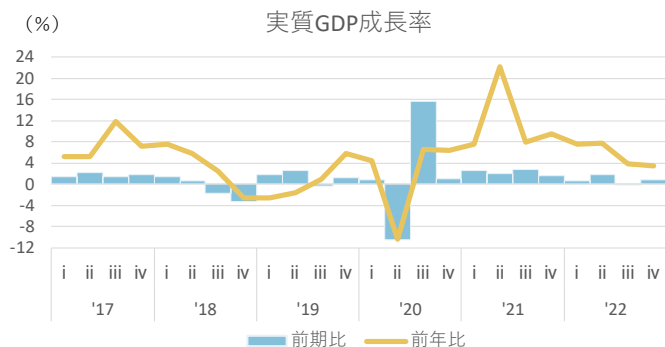
指数(右軸)



(資料: トルコ中銀/トルコ統計局/ブルームバーグ)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

＜主要経済指標の推移＞



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。